

東京湾海況情報 R06-12

東京湾水質調査結果（令和7年3月）

（令和7年4月18日発行）

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒 293-0042 富津市小久保 3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsusokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 3/2 ふさみ丸（内房海域）、3/8 ふさなみ（内湾）、関東・東海海況速報

3月2日、8日にふさみ丸、ふさなみで行った東京湾水質調査結果をお知らせします。
 ※内房海域と内湾の調査日が6日間空いたため、分布図を海域ごとに作成しています。

【水温・塩分】

表層水温は、内湾で9~10℃、内房海域で11~15℃と、最近10年間の平均値より、内湾は1~1.5℃低く、内房海域は平均値並でした。表層塩分は、内湾で31~33、内房海域で33~34と、最近10年間の平均値より、内湾は0.5~1高く、内房海域は平均値並でした（図1~3、表1）。

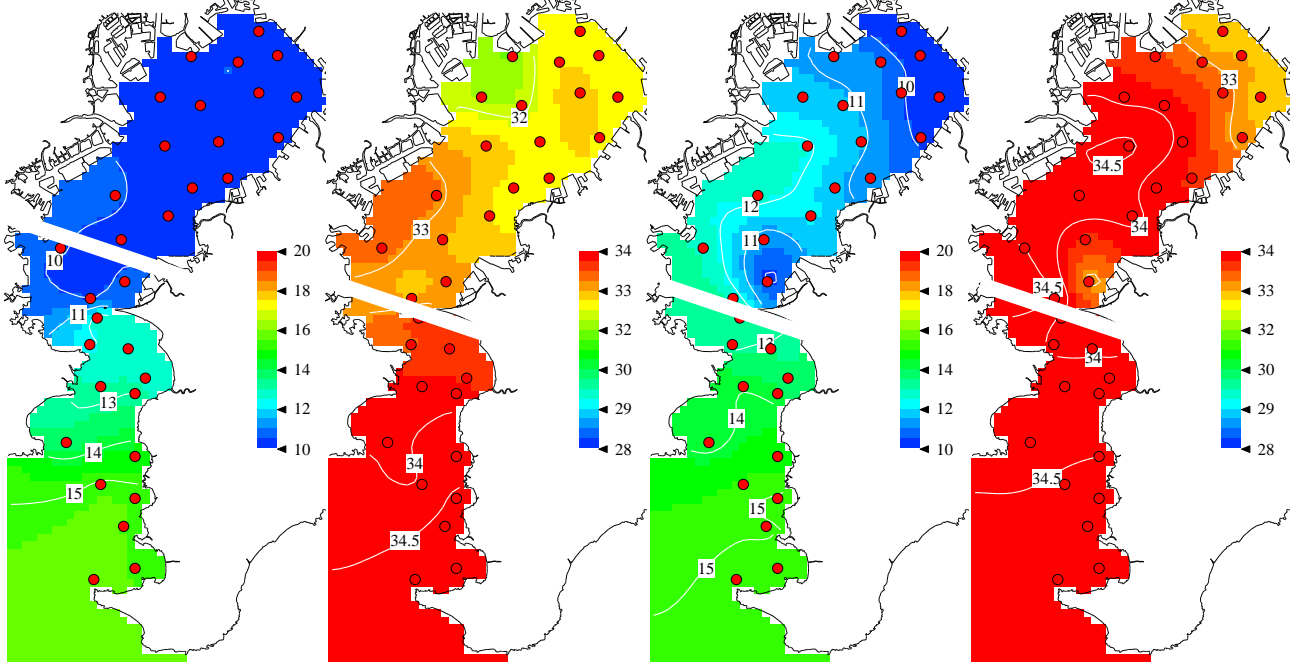
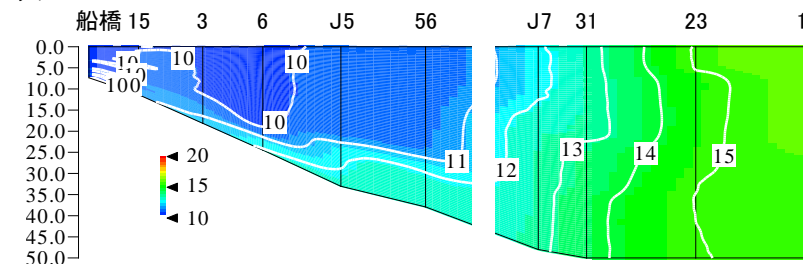


図1 表層の水温・塩分

図2 底層の水温・塩分

水温



塩分

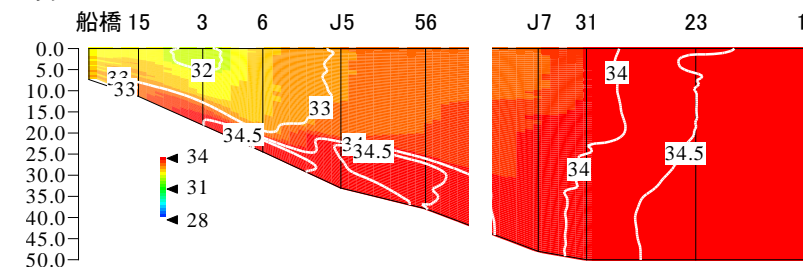


図3 縦断面の水温・塩分

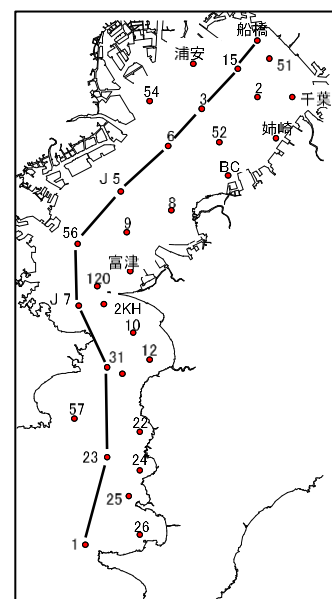


図4 水質調査点
 (実線は調査ライン)

【赤潮】

透明度は、内湾で 2.7~4.2 m, 内房海域で 4.5~20.5 m でした (図 5)。植物プランクトンの指標となるクロロフィル a 濃度は、内湾で 9~21 $\mu\text{g/L}$, 内房海域で 5 $\mu\text{g/L}$ 以下~7 $\mu\text{g/L}$ でした (図 6)。赤潮は確認されず、プランクトンの優占種は、珪藻ローデリア アヌラータなどで、ノリの色落ち原因珪藻のユークンピア属も全域で見られました。

千葉県の赤潮の目安

色	オリーブ~褐色
酸素飽和度	150% 以上
透明度	1.5 m 以下
pH	8.5 以上
クロロフィル a	50 $\mu\text{g/L}$ 以上

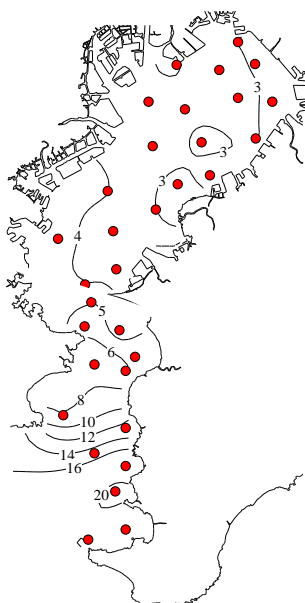


図 5 透明度

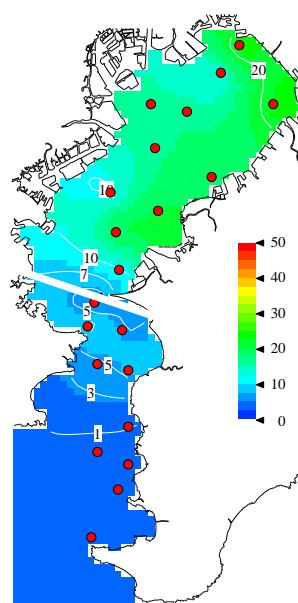


図 6 クロロフィル a 濃度

【貧酸素水塊】

貧酸素水塊はみられませんでした (図 7, 8)。

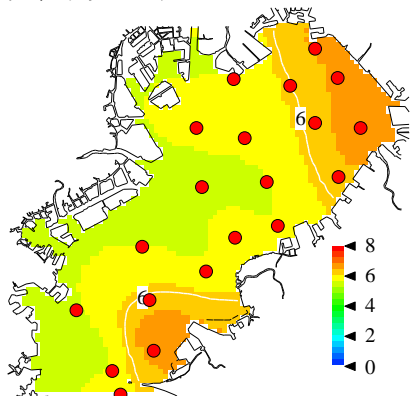


図 7 内湾底層の溶存酸素量 (ml/L)

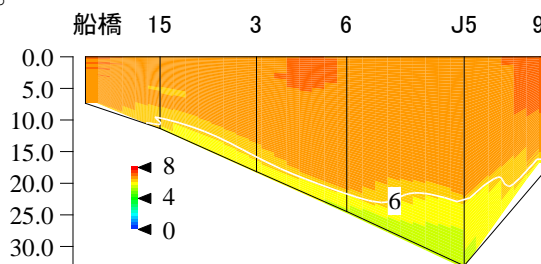


図 8 内湾縦断面の溶存酸素量 (ml/L)

貧酸素水の基準

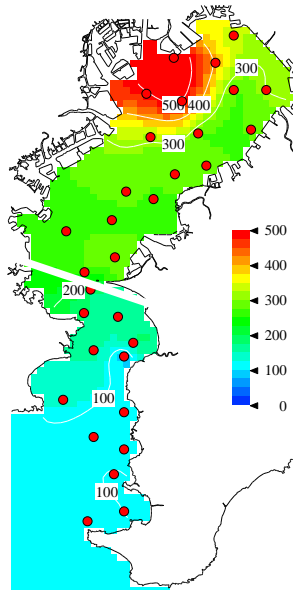
溶存酸素量	2.5 ml/L 以下
酸素飽和度	50% 以下

【栄養塩】

表層の窒素 (DIN) は、内湾で 246~592 $\mu\text{g/L}$, 内房海域で 68~161 $\mu\text{g/L}$ でした。表層のリン (DIP) は、内湾及び内房海域ともに 5 $\mu\text{g/L}$ 以下~15 $\mu\text{g/L}$ でした (図 9)。

最近 10 年間の平均値と比べて、窒素は内湾及び内房海域とも平均値並みかやや少ない状況でした。リンは内湾で平均値並みか少なく、内房海域北部で平均値並み、南部でやや多い状況でした (表 1)。

DIN



DIP

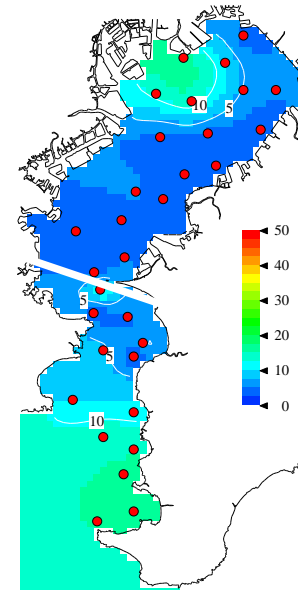


図 9 表層の栄養塩濃度 ($\mu\text{g/L}$)

【黒潮】

黒潮はA型流路でした。黒潮は房総半島沖を流れており、東京湾口への暖水波及はみられませんでした(図10)。

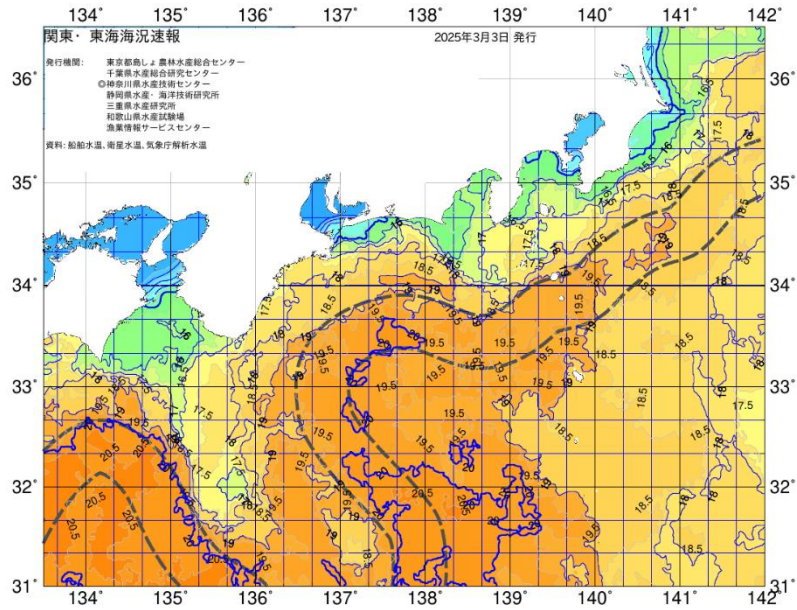


図10 黒潮の動き (令和7年3月3日)

表1 主な調査点の水質調査結果(表層, 溶存酸素量のみ底層)
():最近10年間の平均値(2015~2024年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (μg/L)	溶存無機態窒素 (μg/L)	リン酸態リン (μg/L)	クロロフィルa (μg/L)	
内湾	船橋	9.2 (10.5)	32.3 (31.3)	3.0 (3.2)	8.6 (8.5)	6.3 (7.0)	35.8 (29.5)	324.0 (394.9)	1.8 (7.3)	21.9
	st.15	10.0 (10.7)	32.4 (31.3)	3.8 (3.3)	8.6 (8.5)	5.9 (6.6)	70.8 (20.1)	401.3 (398.2)	8.6 (4.2)	11.4
	st.3	9.8 (10.7)	31.9 (31.5)	3.3 (4.0)	8.6 (8.4)	5.6 (5.7)	98.7 (37.3)	496.5 (453.4)	11.2 (5.5)	14.8
	st.6	9.8 (10.7)	32.6 (31.3)	3.7 (4.8)	8.6 (8.4)	5.4 (5.7)	36.0 (46.8)	312.6 (441.8)	1.4 (7.8)	15.0
	st.9	9.8 (11.2)	32.8 (32.1)	3.5 (5.1)	8.7 (8.4)	5.8 (6.1)	18.1 (22.8)	254.6 (340.9)	1.0 (5.4)	18.1
	st.BC (盤洲Cブイ)	9.7 (11.3)	32.4 (31.9)	3.3 (4.1)	8.7 (8.4)	5.5 (6.3)	18.8 (42.1)	283.7 (373.3)	1.1 (8.5)	17.9
	st.8 (盤洲A南)	9.6 (11.2)	32.4 (32.1)	3.0 (4.7)	8.7 (8.4)	5.5 (5.9)	12.6 (37.8)	257.0 (350.7)	0.8 (7.9)	18.7
	富津	10.2 (12.0)	32.9 (32.4)	3.8 (6.1)	8.6 (8.3)	6.5 (6.1)	48.6 (46.4)	277.0 (318.8)	2.6 (8.5)	9.4
内房海域	st.2KH (第2海下)	12.5 (12.0)	33.7 (32.8)	5.0 (5.0)		5.8 (6.4)	9.4 (21.7)	161.3 (264.6)	10.5 (9.7)	3.5
	st.31	12.7 (13.2)	33.8 (33.1)	7.5 (9.8)		5.2 (6.0)	3.4 (12.9)	141.2 (214.6)	5.8 (8.8)	4.7
	st.23	15.1 (15.3)	34.0 (34.5)	15.0 (16.2)		5.4 (5.8)	3.2 (6.6)	92.9 (99.4)	12.0 (11.5)	0.5
	st.1	15.4 (15.8)	34.7 (34.6)	20.0 (14.8)		5.1 (5.6)	4.9 (5.7)	92.0 (88.8)	13.5 (9.9)	0.4
	st.10 (下洲沖)	12.3 (12.9)	33.6 (33.3)	4.5 (6.6)		5.7 (6.3)	2.8 (17.3)	134.1 (216.6)	2.4 (9.8)	5.0
	st.12 (湊沖)	12.3 (13.4)	33.6 (33.7)	6.0 (6.7)		6.1 (6.4)	6.0 (8.2)	151.7 (152.7)	4.9 (8.3)	
	st.22 (保田沖)	14.4 (15.3)	34.4 (34.2)	12.5 (14.5)		5.3 (5.8)	2.4 (4.8)	90.6 (95.6)	8.9 (10.9)	1.0
	st.24 (富山沖)	15.2 (15.6)	34.6 (34.5)	19.5 (15.4)		5.2 (5.7)	2.6 (7.0)	94.9 (91.4)	13.1 (11.1)	0.5
	st.26 (館山湾内)	15.2 (15.4)	34.6 (34.4)	18.0 (13.8)		5.1 (5.6)	4.4 (8.9)	100.4 (98.0)	15.5 (12.6)	

注) ※ 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示します。